

平成27年7月
株式会社ジェー・シー・オー

住民説明会（7月22日）におけるご説明概要

1. 将来計画について

弊社臨界事故から約16年が経過し、今後とも弊社の原子力施設がより安全に管理され、地域の皆様により一層安心していただけるよう、不要な設備の撤去や施設の整備を順次進めていくことを計画しました。具体的な内容は次の通りです。

- ①本年1月から油類（保管溶媒）の焼却処理を開始しました。
- ②平成27年度から約10年間をかけて、不要な旧加工設備の撤去工事および不要な施設の非管理区域化工事を順次実施します。
- ③上記工事実施に伴う保管廃棄物の増加に対応するため、平成27年度を目途として廃棄物保管能力の増強を実施します。

2. 平成27年度年間事業計画について

弊社の将来計画を踏まえて、本年度は以下の主要計画に沿って事業を進めています。

- ①ウラン廃棄物（低レベル放射性廃棄物）の維持管理及び処理
例年通り、ウラン廃棄物を安全・確実に管理していくとともに、廃棄物の減容、発生抑制に努めます。
- ②管理区域の維持管理
例年通り、管理区域からの排水・排気の管理および放射線管理や環境管理に十分配慮して施設を適切に維持管理します。
- ③焼却設備の通常運転継続
昨年度に引き続き、保管溶媒焼却の通常運転を継続します。
- ④設備撤去工事の開始
第2管理棟内の旧加工設備および固体廃棄物処理棟の設備の撤去を開始します。
- ⑤放射性固体廃棄物保管能力の増強
設備撤去工事のため、平成27年度末の廃棄物全保管本数は約12,000本と予想され、許可本数12,100本に対して余裕がなくなる見込みです。このため、将来計画を踏まえ、平成27年度に同保管能力を増強できるようにするために許認可申請を進めます。

3. 焼却設備の運転状況について

本年3月にお知らせいたしました通り1月19日～3月10日に保管溶媒を使用した焼却試運転を行い、排気、排水への放射性物質の影響は認められず、運転安定性を確認いたしました。3月16日より通常運転に移行し、今後も安全を最優先に保管溶媒の焼却運転を継続していきます。

以上